

## 平成28年度予算の要求について(ポイント)

### ◎ 約46億円の財源不足が見込まれ、依然として厳しい財政環境が継続

- 平成17年度予算編成前の段階で約400億円と見込まれた財源不足については、職員数の削減・公の施設の見直し、マイナスシーリングの設定による事務事業の見直しなど徹底した行財政改革により、平成27年度予算編成後の段階で15億円まで圧縮。
- 平成28年度は、国の骨太方針に基づき、平成30年度までに国・地方を通じた基礎的財政収支赤字の対GDP比△1%を達成するため、引き続き地方交付税の削減等が懸念される一方で、新幹線建設等に係る公債費や福祉・医療などの義務的経費が引き続き高い水準で推移することから、現時点で約46億円の財源不足が見込まれ、依然として厳しい状況。

- ◎ 引き続きマイナスシーリングを設定し、ゼロベースの見直しによる財政健全化の努力を継続
- ◎ 北陸新幹線の開業効果の持続・深化に積極的に取り組むとともに、先般策定した「とやま未来創生戦略」に基づき、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって持続的に活力を生み出すことのできる地域社会を構築し、本県の新たな未来を切り拓いていく施策を推進するため、「とやま未来創生戦略等推進枠」を設け、戦略に掲げる目標等の達成に具体的な効果が見込める取組みに対し重点配分
- ◎ 新たに「経済・文化長期ビジョン枠」を設け、「富山県経済・文化長期ビジョン」のとりまとめの方向性を踏まえたモデル的又は先行的施策に重点配分
- ◎ 「新・元気とやま創造計画枠」を設け、計画に掲げられた施策を引き続き着実に推進
- ◎ 「水と緑の森づくり枠」を設け、「森づくり条例」の趣旨に鑑み、「森づくりプラン」に即した緊要度が高く優先的に実施する必要がある施策を引き続き推進

### ※ 予算要求基準

#### 1 重点施策経費

- (1) 「とやま未来創生戦略等推進枠」・・・要求上限は設けない
- (2) 「経済・文化長期ビジョン枠」・・・事業費で概ね10億円
- (3) 「新・元気とやま創造計画枠」・・・事業費で概ね20億円
- (4) 「水と緑の森づくり」枠・・・「水と緑の森づくり税」の収入見込み額の範囲内

#### 2 投資的経費

今後、明らかになる国の予算、地方財政計画等を踏まえ、予算編成過程で決定

3 一般行政経費 (㉞特別枠経費含む) △20% (=㉞)

4 経常的事務経費 △2% (=H㉞)

5 試験研究費 △1% (H㉞±0%)